

令和2年度の学校評価（中間評価）

本年度の 重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業力の向上と確かな学力の定着</li> <li>・望ましい学習習慣、生活習慣の確立</li> <li>・帰属意識と自己有用感の涵養</li> <li>・キャリア教育の一層の充実</li> <li>・教職員が健康的に教育活動に従事できる環境の整備</li> </ul>			
項目（担当）	重点目標	具体的方策	留意事項	中間評価
防災・減災 P T A活動 （総務部）	防災意識の向上	防災・減災に関する実践的 的活動を行うとともに、 年間を通じて防災・減災 の方法を考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる災害の状況を想定して、自 分の命を守ろうとする意識を育成する。</li> <li>・「防災だより」を発行し、災害時のみ ならず、日ごろから継続して防災・減 災に取り組む意識を育てる。</li> </ul>	1学期の避難訓練は実施できなかった が、2学期における激甚災害を想定した 避難訓練を実施し、避難経路の確認を行 うことができた。また、常に防災意識を 向上させるため、防災だよりを発行して いる。
	P T Aとの連携強 化	学校における諸活動に対 して、P T Aとの連携を 密にして、積極的な活動 を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が家庭と連携し、P T Aの積極 的な活動により、生徒の育成に寄与で きるように配慮する。</li> <li>・学校に関する現状について理解を得 るために、ホームページ、きずなネット を活用し、情報発信を行う。</li> </ul>	新型コロナウイルスの影響により、P T A活動が大幅に制限され、十分な連携 をとることができなかった。今後、感染 状況を考慮しながら、連携の在り方を検 討していきたい。
学習指導 （教務部）	確かな学力の育成 を目指すための授 業改善	成績不振者に対して、 教科・学年と連携し、 生徒の学習段階に応じ て明確な到達度目標を 設定させ、組織的な指 導をすすめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力の育成を目指し、授業・行 事等の生徒の学びの場面の工夫をすす める。さらに学びに向かう力の育成へ も重点を置き日々研鑽に努める。</li> </ul>	新型コロナウイルスの影響のため、授業 時間が十分に確保できず、授業改善や成績 不振者指導等を組織的に進めることができ なかった。2学期に向けて、Z O O M ・ロ イノート等を活用した新たな学びの方法 を推進していきたい。
生徒指導 （生徒指導部）	S N Sでのトラブ ル防止	S N Sの使い方講座を 実施するとともに、日常 生活におけるスマホ依存 について注意喚起する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活での携帯電話、スマートフォ ン指導について全教職員でマナー指導 を徹底する。</li> <li>・S N Sでの正しい使い方、危険性を理 解させるための指導を図り、学年や他 分掌とも連携してトラブルの防止に努 める。</li> </ul>	学校生活でのルールの見直しを図った。 携帯電話、スマートフォンの使い方指導を 今後も全職員で行い、自己管理できる能力 を育てていきたい。 6月にS N Sマナー講座を実施した。ト ラブル防止に向けての啓発活動を引き続き 行っていきたい。
	安全・安心につい ての実践力の向上	事件、事故、災害に巻き 込まれないための心構 え、危機意識の醸成を図 り、安全行動を身に付け させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と周りの人の命を大切にすること について理解を深めさせ、学校行事、 全体集会等において啓発を行う。</li> <li>・安全な生活を送れるようリスクマネジ メントを心掛けさせ、危険予測、危険 回避についての意識向上を図る。</li> </ul>	これまでに交通事故は6件報告されてい る。今後もしっかりと意識させたい。 他人の困りごとに対して行動できた生徒 がおり、地域の人から感謝のお手紙を頂い た。周りの人を大切にできる雰囲気さをさら に盛り上げていきたい。
生徒会活動 （生徒会部）	目標を理解し協働 的に取り組むこと のできる生徒会行 事の実施	学校行事を通して、キャ リア教育を充実させ、生 徒の主体性を伸ばす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の充実のため、生徒個々がそ の目的を理解できるよう「キャリアを 積むこと」「主体性を育む場であるこ と」を強く意識した指導に努める。</li> <li>・生徒の状況を十分に理解し、過去の問 題点の集約と再検討を重ね、各行事を 最適化する。</li> </ul>	年間の行事計画を見直した。可能な限 り主たる生徒会行事を中止せずに進める ことができた。現時点では特殊な状況で あるがこれがスタンダードになることも 想定しながら、実施していきたい。 （文化祭と体育大会は1日ずつの連日開 催とし10月末に実施予定）
		安全で安心な生徒会活動 （各種学校行事・部活動 等）の在り方について、 生徒が考える時間を積極 的に設ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の安心と安全を確保するために、 保健厚生や総務をはじめ、各分掌と十 分な連携を図り、その在り方について 多角的に検討を重ねる。</li> <li>・「きずなネット」を有効活用し、保護 者の学校理解が深まるように努める。</li> <li>・本校のガイドラインに照らして健全な 部活動運営を模索する。</li> </ul>	感染症予防を考慮した各行事や部活動 の実施については、他分掌と連携を図り ながら進めてきているが、想像をはるか に超えて苦慮している。常に状況の変わ る中で優先事項を見失わないよう、時間 のない中ではあるがしっかりと時間をか けて多角的に検討を重ねていきたい。
教育相談 （教育相談部）	問題を抱える生徒 の早期発見と個々 の生徒に対する適 切な対応  教職員の連携と協 力体制の構築とコ ミュニケーション 能力の向上	教育相談小委員会等での 情報交換、各学年団との 連携、保健厚生部と連携 し支援体制を充実させ る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を抱える生徒の具体的な支援のあ り方を検討する。</li> <li>・生徒の情報を教員が適切に共有し、他 の関係部署やスクールカウンセラー、 さらに必要に応じてスクールソーシャ ルワーカーや外部の専門機関や医療機 関などとも連携して支援にあたる。</li> </ul>	毎月一回の教育相談小委員会で、学年 を横断した情報交換ができた。コロナ禍 で実施した「心の健康調査」アンケート では、質問項目を見直し、生徒の状況把 握を意識した内容とした。 調査結果より配慮すべき生徒を確認 し、担任、学年へ連絡し、緊急を要する 場合はスクールカウンセラーの面談や外 部機関との連携をとり対処している。

	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの効果的活用と外部機関との連携	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、外部の専門機関を活用した教員研修の機会を設け、参加の促進をはかる。 教職員に向けて、さまざまな機会を通じ、情報を発信する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の研修の機会を設ける。</li> <li>・常日頃から学校教育全般において、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーや外部の専門家・機関などによる支援の充実を図る。</li> <li>・教職員が健康的に教育活動に従事できるよう、環境の整備にも意識して取り組む。</li> </ul>	<p>校内研修は2学期以降の考查期間中に外部の専門機関から講師を招き、実施予定である。</p> <p>日頃からスクールカウンセラーとの連携をとり、より具体的な支援方法を学ぶ機会を増やしていくよう努める。</p>
保健・清掃指導 (保健厚生部)	健康的な生徒の育成と快適な環境づくり	学校全体で相談活動をスムーズに行える体制を作る。(校内の他分掌との連携だけでなく、SCやSSWと連携し問題解決にあたる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他分掌、他職員との情報交換の機会を増やし、情報の共有化を図る。</li> <li>・部会と教育相談小委員会での情報交換を行い、生徒の抱える問題等の早期発見に努める。</li> </ul>	<p>保健室内での相談活動は感染症予防を第一に考えると、スムーズに実施できてはいない。感染症予防と相談活動を両立させるべく、今後はより一層来室者の状況を詳細に観察し対応していきたい。また連携を意識した対応を心掛け、問題解決に努めたい。</p>
		様々な災害発生時における組織的な対応への体制づくりと備えを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康観察の方法を検討し、心身の不調や感染症の早期発見・早期対応に努める。</li> <li>・保健だより等で、感染症流行時や自然災害時の対応等について、情報提供を行う。</li> <li>・本校が抱える問題点等をまとめ、不足物資の整備をできるところから行う。</li> </ul>	<p>健康観察の方法を変更し、早期の生徒情報を把握が可能になった。情報の有効的活用を検討中である。検温の月間個人記録表は、マンネリ化してきており改善が必要。</p> <p>現状に合わせ感染症と熱中症を中心に情報提供を実施した。自然災害は今後の予定。</p> <p>予算がついたおかげで、必要物品の整備も着実に実施できている。</p>
		環境についての関心を高め、安全対策、美化整備を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が安全に安心して生活できる場所にするため、定期的に校内各所の点検を実施し、修繕修理に努め快適な環境づくりに取り組む。</li> <li>・行事や委員会を通して、ごみの減量化とごみの分別について意識向上を図る。</li> </ul>	<p>休校期間中に多くの職員に協力してもらい自転車置き場や購買周辺の修理修繕を進めることができた。</p> <p>教室内のごみ箱の分別を細分化したことで生徒の意識向上につながった。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からトイレの清掃方法なども変更した。</p>
進路指導 (進路指導部)	キャリア教育の実践強化と職業観と勤労観の向上とライフデザインの作成能力の育成	学年に応じた進路の意識付けに向け、進路希望調査やガイダンス、進路資料の提供、保護者会等様々な場面で進路意識の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路希望調査と担任面談による情報の共有を図り、進路実現の支援に努める。</li> <li>・進路ガイダンスによる進路意識向上と進路実現に必要な条件を目標にさせ、様々な学校生活に対し実践的に取り組めることを行う。</li> <li>・挨拶や言葉遣い、身だしなみに気を遣うことができるように声掛けによる意識の向上を図る。</li> </ul>	<p>新型コロナウイルスのため、進路希望調査や担任面談が6月からになり、進路実現の支援が後手となった。</p> <p>進路ガイダンスが中止や延期となり、進路意識向上の取り組みができなかった。</p> <p>挨拶や言葉遣いなどの意識の向上と進路資料の提供及び進路実現の目標づくりに速やかに取り組む。</p>
	進路実現に向けた支援の充実	生徒個々の進路希望に応じた進路情報の提供や相談、学年との連携を進め、進路実現を進める。また、進路実現後の学校生活の充実を図り、卒業前の学習活動と事前の準備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路実現を支援できる体制を、生徒・保護者・学年と連携を深め、進路目標とその準備、合格とその後の事後指導に至るまで自覚を持たせて取り組むことができるように努める。</li> <li>・卒業後の生活を速やかに取り組めるように生徒個々の相談に応じ、合格後の学校生活を積極的に取り組むことができるように支援する。</li> </ul>	<p>今後実施する進路ガイダンスを学年と連携して進路目標の確立に役立てる。</p> <p>進路目標の実現に向けて学習や部活動の積極的な参加を促す。内定や合格後の学校生活をきちんと過ごすことができるようにさせる。</p> <p>進路希望調査や担任面談を通じ、進路目標の確立と実現のための支援を積極的に行う。</p>
図書館活動 (図書部)	読書の楽しさ、大切さを生徒に伝え、読書習慣につなげる。	読書に興味、関心を持ってもらえるよう生徒に働きかける。また、図書館に来てくれた生徒が再び足を向けたくなるような工夫をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館だよりの内容を検討し、読書への興味を引き出せるよう工夫する。</li> <li>・新刊本の展示を充実させ、生徒が図書館に足を運びたくなる環境を作る。</li> <li>・図書選定にあたって、より多くの生徒から意見を集約できるようにする。</li> </ul>	<p>図書館だよりは、購入した図書の紹介を優先するようになった。</p> <p>平積みスペースをさらに拡張して、新刊本を目立つようにしている。</p> <p>図書選定は、生徒図書委員の好みに偏る傾向があるので、その点は修正していきたい。</p>
情報管理・情報発信 (教育情報部)	個人情報の管理	個人情報に関するコンプライアンスを徹底させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県情報セキュリティポリシーに基づき、教職員に暗号化・パスワード設定を徹底する。</li> <li>・セキュリティ意識を高める働きかけを</li> </ul>	<p>ファイル無害化中継システムで校務系に移動できない大容量の写真や動画のデータを保存するため、教育系にNASを接続して共有できるようにした。そのた</p>

			すると共に、個別に先生方のセキュリティ状況を確認する。	め、NASの適切な利用方法を検討し、個人情報の管理を徹底したい。
	情報化の推進	ホームページの活用や校務支援システムの利用を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各担当者がホームページの情報を更新できるようサポートする。</li> <li>各担当者が校務支援システムを本格運用できるようマニュアルを整備する。</li> </ul>	臨時休校中、生徒・保護者・地域への情報発信としてホームページを活用することができた。校務支援システムは活用しながら問題点を見つけ、各分掌と連携をして対処していきたい。
商業教育 (商業科)	生徒が商業科の学びを地域社会に生かすことのできる授業改善・授業研究の促進	地域の人的・物的資源を活用する実践的な学習を推進するとともに、生徒が地域産業の活性化を牽引するための素養を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>東三河地域の会社、市役所、商工会議所など地域の人材活用バンクなどを通じ外部講師を招聘する。</li> <li>卒業生より高度資格取得のメリットや取り組む姿勢を在校生に伝える機会を作る。</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外部講師の招聘や卒業生を呼ぶことはできなかった。11月に豊橋市役所産業部農業企画課との共同事業として、道の駅とのプロジェクト学習を予定している。今後も感染状況を鑑み、地域と関わる授業を展開していきたい。
総合ビジネス科	大学生同等の仕事力と人間力を兼ね備えたリーダーシップの育成	主体的な学びの授業展開の中で、チャレンジ精神を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>失敗に伴う不安をなくすため、チームで課題解決に取り組ませ、肯定的な助言を行う。</li> <li>各授業で得た知識を、実践的・体験的な学習活動を通して率先して行動できるように働きかける。</li> </ul>	自分にとって興味・関心がある内容については楽しく授業に取り組むことができる一方、難しい内容については話し合いが止まったり、問題演習に関しては手が止まったりするので、前向きにチャレンジできるように働きかけていきたい。
		ビジネスに必要なコミュニケーションスキルを理解させ、実践させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の方や大学の講師の方からコミュニケーションの原理原則を学び、課題解決や目標達成のために役立てる。</li> <li>発表の際には、伝え方と同様に「聴く」ことの大切さを伝える。</li> <li>授業の中でも報・連・相の重要性を伝え徹底させる。</li> </ul>	3年生の「課題研究」では、企業の方や講師の方による講義の中で、コミュニケーションを取る機会が与えられている。また、ZOOMを活用して課題解決のための助言をいただいている。生徒は「聴く」ことの大切さを理解し実践している。更に発展させる発問ができるように促していきたい。
情報処理科	情報活用能力を備え創造性に富む人材の育成	AI、IoT、ビッグデータ、セキュリティ等の知識を定着させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部講師を活用し国家資格取得体制を整えるとともに資格取得と実務に関連付ける。</li> <li>習熟度別授業を展開し、きめ細やかな指導を行う。</li> <li>専門学校等と連携し授業改善に努める。</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため外部講師を招聘した授業が実施できなくなった。オンライン講座等の活用や指導法の研究をしていきたい。習熟度別で授業を展開し、個々の生徒に合った進度と課題を出している。
		論理的思考力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題発見から解決を意識したプログラミング教育を行う。</li> <li>問題解決にコンピュータを活用し科学的に理解させる。</li> <li>大学、地域、企業と連携しシビックテックによる地域創生を行う。</li> </ul>	グループで話し合いを重ね、知識・技能を適切に組み合わせることで問題を解決していく授業を行っている。地域における問題解決にも取り組みたい。
国際ビジネス科	グローバルビジネスで活躍できる人材育成	異文化や多様性を理解し、地球規模で経済を捉える力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>異文化を理解し論理的思考力を持たせるための授業改善を行う。</li> <li>新聞やニュースなどを活用し、世界情勢から地域のビジネスの課題を考える機会を設ける。</li> </ul>	課題研究の授業などで左記のような授業改善に取り組んでいる。総合実践やビジネス経済、課題研究などの科目を通して、新聞やニュースを活用し経済に触れる機会を作っている。
		英語を活用し、実務で活かすことのできる能力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語科、ALTとの連携を深める。</li> <li>生徒が主体的に外国語力の向上に努め、積極的にコミュニケーションが取れるような働きかけを行う。</li> </ul>	英語科の協力のおかげで面接練習や上位級の対策が円滑に実施できている。今後も授業改善に努め、英語を活用し積極的に取り組む姿勢を身に付けさせ、能力の向上を図っていきたい。
経理科	簿記会計の役割を理解しその能力を活用できる人材の育成	簿記会計の役割を理解し、職業人としての倫理観をもたせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>検定重視の指導だけでなく、実務での役割を理解する授業を展開していく。</li> <li>実務に即した簿記会計の活用のため地域人材や卒業生を講師として招聘する。</li> </ul>	授業時数の減少により授業内容を進めることで精一杯であり、実務的な授業展開ができていない。今後は授業時間を確保しながら今まで学習した知識を基に監査授業を展開し実務での役割を理解させていきたい。
		自ら課題を発見し、課題解決のために主体的かつ協働的に取り組ませる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>経理科で設定している科目全てにおいて自己の現状を分析し目的や課題を明らかにすること、また、課題解決に向けたプロセスを明らかにするための指導を行う。</li> </ul>	「課題研究」の授業を中心に課題の分析から解決に向けたプロセスを展開することはできた。今後もすべての授業にて展開できるように促していきたい。

第1学年 (1年学年会)	基本的な生活習慣と挨拶の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>欠席、遅刻を極力減らすクラス経営</li> <li>報告、連絡、相談の徹底</li> <li>身だしなみ指導や挨拶指導</li> <li>STによる1分間スピーチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻、欠席をなるべくしないで、毎日元気よく登校させる。</li> <li>欠席や遅刻の連絡、忘れ物などの報告やその対応の相談をしっかりと行わせる。</li> <li>校則の身だしなみをしっかりと整えさせ、元気よく挨拶できるよう指導する。</li> <li>コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成する。</li> </ul>	<p>欠席、遅刻など多くはないが、教材の忘れ物などが少し目立つ。スケジュールの管理や授業を能動的に受ける自覚をより持たしていきたい。</p> <p>挨拶を自らすすんで行う生徒がまだ少ない。引き続き、声かけをしていきたい。また、1分間スピーチによりプレゼンテーションをする機会を作れているので、今後はその内容を吟味したい。</p>
	基礎学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標を設定し、それに向かい努力させる指導</li> <li>授業外学習習慣の確立</li> <li>定期考査における上位層の意識向上と下位層の底上げ</li> <li>読書の機会作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に目標を持たせ、日々の授業や定期考査に取り組ませる。</li> <li>各教科の課題を整理、または依頼し、授業外学習習慣を確立させる。</li> <li>定期考査において下位層指導だけでなく、上位層のモチベーションを向上させる指導を行う。</li> </ul>	<p>定期考査の目標を低く設定する傾向があるので、高い目標を持たせていきたい。課題の提出はできているが、考査結果がよくない生徒もいるので、引き続き、下位層の底上げをしていきたい。</p> <p>また、上位層は進路の意識を持たすことでモチベーションを向上させていきたい。</p>
第2学年 (2年学年会)	自主的・主体的に行動する態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒による「朝の連絡」の実施</li> <li>1分間スピーチの実施</li> <li>HR役員・係の役割の明確化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が朝の連絡と1分間スピーチを行えるよう、教員の指導体制を整える。</li> <li>1分間スピーチを用いて、生徒各自の問題意識に基づいた課題設定と、課題に対する行動を発表する機会を設ける。</li> <li>各役員・係のすべきことを明確にして生徒へ示すとともに、分掌・教科の関連性を整理し、分掌が各クラスの役員を動かす体制を作る。</li> </ul>	<p>朝の連絡と1分間スピーチを行う体制を整えることができた。今後もより良い方法について情報共有していきたい。</p> <p>生徒各自の課題設定と行動発表の機会については、3年生の進路決定後に設定し、その時期の目標の1つにできるように今年度から準備をする予定である。</p> <p>HR役員・係の仕事の明確化に関しては、担任任せになっている部分を情報共有しながら改善していきたい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習習慣の確立</li> <li>読書習慣の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成績が振るわない生徒に対し、具体的な目標設定から日々の学習活動までをサポートする指導を行い、その中で家庭学習を意識させる。</li> <li>卒業後の進路を強く意識させ、具体的な成績目標と、日々の学習面での行動目標を設定する。</li> <li>年間で読んだ本を記録していく仕組みを作るとともに、読書に関する1分間スピーチを行う機会を設ける。</li> </ul>	<p>成績の振るわない生徒に対して、具体的な指導ができていない。今後学年で協力しながら、家庭学習や卒業後の進路についても言及し、具体的な成績目標と日々の行動目標に落とし込んでいきたい。</p> <p>読書習慣に関してもまだ具体的な動きができていないが、今後、読書の記録をさせながら、定着し始めた1分間スピーチを用いて発表する機会を設けたい。</p>
第3学年 (3年学年会)	社会が求める人材の育成	ポートフォリオの継続と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事等を通して、課題解決に向けた企画力、実行力を育成する。</li> <li>終礼時にグループワークを行い、対話する機会を設け、価値観の異なる相手と相互に認め合い、学び合う姿勢をもたせる。</li> <li>進路決定後講座を開講し、相手をよく理解して自己の考えを明確に伝えるための知識や教養を身につけさせる。</li> <li>学校行事や進路決定後講座を利用し、様々なことにチャレンジさせ、成功体験や失敗体験を活かす力を育む。</li> </ul>	<p>ショップ豊商や体育大会では係生徒が中心となって、多様な問題に直面しつつも、解決策を模索しながら活動している。</p> <p>進路実現に向けた集団面接や個人面接指導を通して、自己表現力を高めている。</p> <p>進路決定後講座を学年の先生方が担当教科の特色を踏まえた講座を開講する。10月に生徒が選択し、進路が決定する11月頃から開始する。</p>